

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	国際ペットワールド専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養専門課程	ドッグトレーニング学科		1,118 時間	160 時間	
	動物飼育管理学科		2,594 時間	240 時間	
	動物看護師・栄養学科		2,280 時間	160 時間	
	ネイチャーアクアリウム学科		1,360 時間	160 時間	
	ペット美容学科		1,848 時間	160 時間	
	動物看護師・美容学科		3,016 時間	240 時間	
	ペットケア・ビジネス学科		1,532 時間	160 時間	
	海洋生物・ドルフィン学科		1,472 時間	160 時間	
	動物看護師・リハビリ介護学科		2,984 時間	240 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

国際ペットワールド専門学校のホームページにて公表 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2017/img/pdf/jitumu_200604.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	国際ペットワールド専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

国際ペットワールド専門学校のホームページにて公表
<https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2017/img/pdf/officer2020.pdf?170925>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	団体職員	2019年6月1日～ 2023年5月31日	政策的観点
非常勤	会社役員	2019年6月1日～ 2023年5月31日	教育統括的観点
非常勤	大学教授	2019年6月1日～ 2023年5月31日	教育統括的観点
非常勤	団体職員	2020年3月31日～ 2023年5月31日	政策的観点
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	国際ペットワールド専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、ペットグルーマー、犬猫のしつけインストラクター、および、動物看護師、アニマルセラピーコーディネーター、ペット栄養管理士、飼育員、リハビリマッサージ、ネイチャーアクアリストとしての専門技能および、実際に生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画(シラバス)を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>① 各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務主任と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>② これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③ 最終的に、教務主任、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>

<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>ホームページにて公表</p> <p>ドッグトレーニング学科 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2017/img/pdf/2019syllabus/dog_training_0730.pdf?1</p> <p>動物飼育管理学科 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2017/img/pdf/2019syllabus/rearing_management_0730.pdf?1</p> <p>動物看護師・栄養学科 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2017/img/pdf/2019syllabus/nurse_alimentation_0730.pdf?1</p> <p>ネイチャーアクアリウム学科 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2017/img/pdf/2019syllabus/nature_aquarium_0730.pdf?1</p> <p>ペット美容学科 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2017/img/pdf/2019syllabus/beauty_0730.pdf?1</p> <p>動物看護師・美容学科 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2017/img/pdf/2019syllabus/nurse_beauty_0730.pdf?1</p> <p>ペットケア・ビジネス学科 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2017/img/pdf/2019syllabus/care_business_0730.pdf?1</p> <p>海洋生物・ドルフィン学科 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2017/img/pdf/2019syllabus/marine_dolphin_0730.pdf?1</p> <p>動物看護師・リハビリ介護学科 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2017/img/pdf/2019syllabus/nurse_rehabilitation_0730.pdf?1</p> <p>毎年4月に該当年度のシラバスを、学校のホームページにて公表する。</p>
-------------------	---

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績（100点満点）、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。

科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。

- ・「S」 95点以上
- ・「A」 80点以上95点未満
- ・「B」 70点以上80点未満
- ・「C」 60点以上70点未満
- ・「D」 60点未満

D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。

追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。

進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績は、科目ごとに100点満点で点数を算出し、95点以上を「S」、80点以上95点未満を「A」、70点以上80点未満を「B」、60点以上70点未満を「C」、60点未満を「D」として評価する。</p> <p>これらの成績分布を、GPAによる客観的な指標として、成績分布状況の把握と公表を行う。</p> <p>GPAは、下記の通り算出する。</p> <p>① 学生一人ずつ、全科目の評価を、</p> <p>「S」評価…5点 「A」評価…4点 「B」評価…3点 「C」評価…2点</p> <p>として換算し、履修した全科目の平均点を、その学生のGPAとする。</p> <p>② 算出されたGPAから、学生のGPAの人数分布図を作成する。</p> <p>③ 下位4分の1のGPAが何点か分かるように表示する。</p> <p>④ 学科ごとにGPAの人数分布図を作成し、その結果について、学校のホームページにて公表する。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページにて公表 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2017/img/pdf/distribution_190730.pdf?170925
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業、水生生物を扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には、動物、ペットを扱う学科においては、動物の日常の世話、健康管理、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。また、水生生物を扱う学科においては、水槽の日常的な管理、水生生物の扱い方、種類や生態について理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <p>① 年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ② 科目の評価が全て「C」以上である者 ③ 授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p><卒業の条件></p> <p>① 年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ② 科目の評価が全て「C」以上である者 ③ 学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者 ④ 授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	「学生の手引き」に記載し、学生および保護者へ配布する。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	国際ペットワールド専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	国際ペットワールド専門学校ホームページに記載 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2017/img/pdf/2020/r2_kasituke.pdf
収支計算書又は損益計算書	国際ペットワールド専門学校ホームページに記載 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2017/img/pdf/2020/r2_shuushi.pdf
財産目録	国際ペットワールド専門学校ホームページに記載 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2017/img/pdf/2020/r2_mokuroku.pdf
事業報告書	国際ペットワールド専門学校ホームページに記載 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2017/img/pdf/2020/r2_jigyohouku.pdf
監事による監査報告（書）	国際ペットワールド専門学校ホームページに記載 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2017/img/pdf/2020/r2_kansahouku.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	ドッグトレーニング学科	平成22年 文部科学省 告示第三十号	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,980 単位時間	662 時間	時間	1,318 時間	時間	時間
			1,980 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		24人	0人	2人	5人	7人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、ドッグトレーナーとしての専門技能および、实际生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画(シラバス)を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務主任と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務主任、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績(100点満点)、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」 95点以上 ・「A」 80点以上95点未満 ・「B」 70点以上80点未満 ・「C」 60点以上70点未満

<p>・「D」60点未満</p> <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業、水生生物を扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には、動物、ペットを扱う学科においては、動物の日常の世話、健康管理、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p><卒業の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者</p> <p>④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任、学年主任、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。必要に応じ、カウンセラーを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	6人 (85.7%)	1人 (14.3%)
(主な就職、業界等) ペットショップ、その他ペット関連企業			
(就職指導内容) 目指す業界の現状やニーズ、内容を説明する。個々の進路選択についてアドバイスを行う。応募書類作成、面接、インターンシップについての指導や手配を行う。			
(主な学修成果(資格・検定等)) コミュニケーション検定初級…100%合格、社会人常識マナー検定3級…100%合格、愛玩動物飼養管理士検定2級…90.9%合格、マナーハンドラーテスト…100%合格			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19 人	1 人	5.2%
(中途退学の主な理由) 精神的な問題		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	動物飼育管理学科	平成29年文部科学省告示第30号	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2,952 単位時間	1,492 時間	時間	1,460 時間	時間	時間
			2,952 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
85人		49人	0人	2人	11人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）						
<p>（概要）</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、アニマルコミュニケーター、アニマルセラピーコーディネーター、飼育員としての専門技能および、実際生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務主任と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務主任、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>						
成績評価の基準・方法						
<p>（概要）</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績（100点満点）、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」 95点以上 ・「A」 80点以上95点未満 ・「B」 70点以上80点未満 ・「C」 60点以上70点未満 ・「D」 60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p>						

<p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業、水生生物を扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には、動物、ペットを扱う学科においては、動物の日常の世話、健康管理、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p><卒業の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者</p> <p>④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任、学科主任、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。必要に応じ、カウンセラーを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17人 (100%)	0人 (0%)	14人 (82.3%)	3人 (17.6%)
(主な就職、業界等)			
動物病院、ペットショップ、動物飼育施設、その他ペット関連企業			
(就職指導内容)			
目指す業界の現状やニーズ、内容を説明する。個々の進路選択についてアドバイスを行う。応募書類作成、面接、インターンシップについての指導や手配を行う。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
コミュニケーション検定初級…100%合格、社会人常識マナー検定3級…100%合格、愛玩動物飼養管理士2級…100%合格、損害保険募集人基礎単位…80%合格、ペット栄養管理士…100%合格、ホリスティックケアカウンセラー…100%合格、マナーハンドラーテスト…62.5%合格			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
48 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	動物看護師・栄養学科	平成22年文部科学省告示第三十号	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,520 単位時間	1,716 時間	時間	804 時間	時間	時間
			2,520 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
55人		44人	0人	3人	12人	15人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、動物看護師としての専門技能および、実際に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画(シラバス)を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務主任と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務主任、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績(100点満点)、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満 ・「D」60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合</p>

<p>格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。 進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要) 動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業、水生生物を扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には、動物、ペットを扱う学科においては、動物の日常の世話、健康管理、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。また、水生生物を扱う学科においては、水槽の日常的な管理、水生生物の扱い方、種類や生態について理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。 ＜進級の条件＞ ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 ＜卒業の条件＞ ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③学校指定の検定（第4章9. 取得検定を参照）を2つ以上合格した者 ④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要) クラス担任、学科主任、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。必要に応じ、カウンセラーを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	6人 (75%)	2人 (25%)
(主な就職、業界等) 動物病院、その他ペット関連企業			
(就職指導内容) 目指す業界の現状やニーズ、内容を説明する。個々の進路選択についてアドバイスをを行う。応募書類作成、面接、インターンシップについての指導や手配を行う。			
(主な学修成果（資格・検定等）) コミュニケーション検定初級…100%合格、社会人常識マナー検定3級…100%合格、愛玩動物飼養管理士3級…100%合格、アニコムレセプター検定…100%合格、ペット栄養管理士…100%合格、認定動物看護師試験…100%合格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
34 人	3 人	9%
(中途退学の主な理由) 人間関係構築上の問題、目的意識の低下		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	ネイチャーアクアリウム学科	平成22年文部科学省告示第三十号	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,832 単位時間	824 時間	時間	1,008 時間	時間	時間
			1,832 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		25人	1人	2人	6人	8人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、ネイチャーアクアリストとしての専門技能および、実際生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画(シラバス)を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務主任と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務主任、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績(100点満点)、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満 ・「D」60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合</p>

格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。 進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。
卒業・進級の認定基準 (概要) 動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業、水生生物を扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には、水生生物を扱う学科においては、水槽の日常的な管理、水生生物の扱い方、種類や生態について理解していることが必要である。 卒業および、進級の条件を下記の通り定める。 <進級の条件> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 <卒業の条件> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者 ④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。
学修支援等 (概要) クラス担任、学科主任、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。必要に応じ、カウンセラーを導入している。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	0人 (0%)	9人 (81.8%)	2人 (18.1%)
(主な就職、業界等) 観賞魚店、ペットショップ、観賞魚用品メーカー、その他ペット関連企業			
(就職指導内容) 目指す業界の現状やニーズ、内容を説明する。個々の進路選択についてアドバイスをを行う。応募書類作成、面接、インターンシップについての指導や手配を行う。			
(主な学修成果(資格・検定等)) コミュニケーション検定初級…100%合格、社会人常識マナー検定3級…100%合格、観賞魚飼育管理士ベーシックレベル…100%合格			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
29 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	ペット美容学科	平成22年文部科学省告示第三十号	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,038 単位時間	502 時間	時間	1,536 時間	時間	時間
			2,038 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人		70人	0人	3人	5人	8人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、ペットグルーマーとしての専門技能および、实际生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画(シラバス)を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務主任と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務主任、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績(100点満点)、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満 ・「D」60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合</p>

<p>格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。 進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要) 動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業、水生生物を扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には、動物、ペットを扱う学科においては、動物の日常の世話、健康管理、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。 ＜進級の条件＞ ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 ＜卒業の条件＞ ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③学校指定の検定（第4章9. 取得検定を参照）を2つ以上合格した者 ④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要) クラス担任、学科主任、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。必要に応じ、カウンセラーを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	0人 (0%)	17人 (94.4%)	1人 (5.6%)
(主な就職、業界等) 動物病院、ペットショップ、トリミングサロン、その他ペット関連企業			
(就職指導内容) 目指す業界の現状やニーズ、内容を説明する。個々の進路選択についてアドバイスをを行う。応募書類作成、面接、インターンシップについての指導や手配を行う。			
(主な学修成果(資格・検定等)) コミュニケーション検定初級…92.5%合格、社会人常識マナー検定3級…100%、愛玩動物飼養管理士2級…96.2%合格、サロントリマー検定2級…100%合格、サロントリマー検定1級…100%合格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
48 人	3 人	6.2%
(中途退学の主な理由) 人間関係構築上の問題、精神的な問題		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	動物看護師・美容学科	平成22年文部科学省告示第三十号	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3,800 単位時間	2,020 時間	時間	1,780 時間	時間	時間
			3,800 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
85人	74人	0人	3人	12人	15人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、ペットグルーマー、動物看護師としての専門技能および、实际生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務主任と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務主任、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績（100点満点）、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」 95点以上 ・「A」 80点以上95点未満 ・「B」 70点以上80点未満 ・「C」 60点以上70点未満 ・「D」 60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合</p>

<p>格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。 進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要) 動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業、水生生物を扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には、動物、ペットを扱う学科においては、動物の日常の世話、健康管理、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。 <進級の条件> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 <卒業の条件> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者 ④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要) クラス担任、学科主任、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。必要に応じ、カウンセラーを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	11人 (78.6%)	3人 (21.4%)
(主な就職、業界等) 動物病院、ペットショップ、その他ペット関連企業			
(就職指導内容) 目指す業界の現状やニーズ、内容を説明する。個々の進路選択についてアドバイスを行う。応募書類作成、面接、インターンシップについての指導や手配を行う。			
(主な学修成果(資格・検定等)) コミュニケーション検定初級…100%合格、社会人常識マナー検定3級…100%、愛玩動物飼養管理士2級…100%合格、アニコムレセプター検定…100%合格、ペット栄養管理士試験…100%合格、認定動物看護師試験…100%合格、サロントリマー検定3級…100%合格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
60 人	2 人	3.3%
(中途退学の主な理由) 精神的な問題、健康上の問題		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	ペットケア・ビジネス学科	-	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,064 単位時間	876 時間	時間	1,188 時間	時間	時間
			2,064 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		16人	0人	2人	4人	6人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、ペットショップスタッフとしての専門技能および、実際生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画(シラバス)を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務主任と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務主任、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績(100点満点)、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満 ・「D」60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p>

進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業、水生生物を扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には、動物、ペットを扱う学科においては、動物の日常の世話、健康管理、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p><卒業の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者</p> <p>④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>クラス担任、学科主任、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。必要に応じ、カウンセラーを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	8人 (66.7%)	4人 (33.3%)
(主な就職、業界等)			
ペットショップ、その他ペット関連企業			
(就職指導内容)			
目指す業界の現状やニーズ、内容を説明する。個々の進路選択についてアドバイスを行う。応募書類作成、面接、インターンシップについての指導や手配を行う。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
コミュニケーション検定初級…100%合格、社会人常識マナー検定3級…100%、愛玩動物飼養管理士2級…87.5%合格、損害保険募集人基礎単位…87.5%、ホリスティックケアカウンセラー…100%合格			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	海洋生物・ドルフィン学科	平成22年文部科学省告示第三十号	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,822 単位時間	1,006 時間	時間	816 時間	時間	時間
			1,822 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		50人	0人	2人	4人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、水族館スタッフとしての専門技能および、実際に生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務主任と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務主任、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績（100点満点）、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」 95点以上 ・「A」 80点以上95点未満 ・「B」 70点以上80点未満 ・「C」 60点以上70点未満 ・「D」 60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合</p>

格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。 進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。
卒業・進級の認定基準 (概要) 動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業、水生生物を扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には、水生生物を扱う学科においては、水槽の日常的な管理、水生生物の扱い方、種類や生態について理解していることが必要である。 卒業および、進級の条件を下記の通り定める。 <進級の条件> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 <卒業の条件> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者 ④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。
学修支援等 (概要) クラス担任、学科主任、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。必要に応じ、カウンセラーを導入している。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20人 (100%)	0人 (0%)	17人 (85%)	3人 (15%)
(主な就職、業界等) 水族館、観賞魚店、ペットショップ、ダイビングショップ、その他ペット関連企業			
(就職指導内容) 目指す業界の現状やニーズ、内容を説明する。個々の進路選択についてアドバイスを行う。応募書類作成、面接、インターンシップについての指導や手配を行う。			
(主な学修成果(資格・検定等)) コミュニケーション検定初級…100%合格、社会人常識マナー検定3級…100%合格、潜水士…100%合格、観賞魚飼育管理士ベーシックレベル…100%合格			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39 人	2 人	5.1%
(中途退学の主な理由) 人間関係構築上の問題、進路の変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	動物看護師・リハビリ介護学科	-	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3,336 単位時間	1,940 時間	時間	1,396 時間	時間	時間
			3,336 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
15人		26人	1人	3人	12人	15人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、リハビリテーションや動物看護師としての専門技能および、実際生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画(シラバス)を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務主任と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務主任、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績(100点満点)、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満 ・「D」60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p>

進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業、水生生物を扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には、動物、ペットを扱う学科においては、動物の日常の世話、健康管理、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p><卒業の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者</p> <p>④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>クラス担任、学科主任、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。必要に応じ、カウンセラーを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 2020年度新設学科のため記載なし			
(就職指導内容) 2020年度新設学科のため記載なし			
(主な学修成果(資格・検定等)) 2020年度新設学科のため記載なし			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 2020年度新設学科		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ドッグトレーニング学科	80,000 円	600,000 円	910,000 円	その他は、施設費 (年間)、実習費 (年間)、教材費 (年間)の合計
動物飼育管理学科	80,000 円	600,000 円	890,000 円	その他は、施設費 (年間)、実習費 (年間)、教材費 (年間)の合計
動物看護師・栄養学科	80,000 円	600,000 円	940,000 円	その他は、施設費 (年間)、実習費 (年間)、教材費 (年間)の合計
ネイチャーアクアリウム学科	80,000 円	600,000 円	1,090,000 円	その他は、施設費 (年間)、実習費 (年間)、教材費 (年間)の合計
ペット美容学科	80,000 円	600,000 円	980,000 円	その他は、施設費 (年間)、実習費 (年間)、教材費 (年間)の合計
動物看護師・美容学科	80,000 円	600,000 円	880,000 円	その他は、施設費 (年間)、実習費 (年間)、教材費 (年間)の合計
ペットケア・ビジネス学科	80,000 円	600,000 円	850,000 円	その他は、施設費 (年間)、実習費 (年間)、教材費 (年間)の合計
海洋生物・ドルフィン学科	80,000 円	600,000 円	1,060,000 円	その他は、施設費 (年間)、実習費 (年間)、教材費 (年間)の合計
動物看護師・リハビリ介護学科	80,000 円	600,000 円	880,000 円	その他は、施設費 (年間)、実習費 (年間)、教材費 (年間)の合計
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2017/img/pdf/zikohyouka2020.pdf?190930		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
学校関係者評価委員は、学校の自己評価に基づき、学校概要、目標及び計画、各学科等の教育、教職員、実践的職業教育、教育活動、教育環境、学生生活支援、学生納付金、学校財務、学校評価、国際連携、その他の各項目について評価、意見を行う。評価委員は、動物関連の企業、校友会(卒業生)、近隣住民から3名以上とする。聴取した意見について、校長、副校長、教務部長で検討会議を行い、翌年度へ向けて現実的に改善可能な該当箇所の整備にあたる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
新潟市動物ふれあいセンター	2020年4月1日～ 2023年3月31日	企業等委員
株式会社ペタバイト	2020年4月1日～ 2023年3月31日	企業等委員
国際ペットワールド専門学校校友会	2020年4月1日～ 2023年3月31日	卒業生
国際ペットワールド専門学校 Club WaN 会員	2020年4月1日～ 2023年3月31日	近隣住民
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2017/img/pdf/schoolrelationship.pdf?190930		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.wan-c.jp/
--